



理科室だより

令和 2年 6月15日

杉並区立高井戸東小学校

理科主任 川崎史子

日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。学校再開とともにさまざまな授業が始まります。ここでは、理科の授業におけるコロナウィルス感染症対策についてお伝えいたします。

理科室 理科室の実験台は、児童が向き合ってしまう形をしていますが、ノートを書いたり、観察実験などの活動をしたりするとき以外は、基本的には前向きで学習します。換気をし、子供たちはマスクを着用して活動します。

手洗い 授業が始まりと終わりに、手洗い時間を設け、手指の清潔を徹底します。また、観察実験の後にも手洗いをさせます。

観察実験 実験器具や観察するものの数にもよりますが、可能な限り、少人数での活動にします。一緒に活動する人数を少なくしたり、少人数で交代したり、距離をとっての活動にしたりするなどの工夫をします。観察実験に使用する道具や活動場所の安全指導は従来通りしっかりと行います。

実験器具 理科の学習では、さまざまな観察実験の器具を使用します。実際に観察実験を行うことで、実感を伴った学習となります。共用するものは、必要に応じて消毒して使用しますが、活動前後の手指消毒でも対応していきます。

服装 理科の観察実験では、火や薬品を使うものもあります。今までと同じように、学習の内容に応じて、服装の配慮をお願いいたします。

- ・髪が長い場合は、ゴムなどで結ぶ。
- ・燃えやすい素材のもの（例：フリース素材の上着）は避ける、または脱ぐ。
- ・袖が長いもの、袖口が広いものは避ける、またはまくる。
- ・野外での観察実験のときには、長袖や帽子を着用する。

持ち物 学習用具がそろっていると、すぐに学習が始められるとともに、自分のものを使って学習を進めることができます。限られた授業時間の中で、ゆとりをもって観察実験、話し合い活動ができることは、「安全」にもつながります。